

第3期(2013年8月期) 第1四半期 決算説明資料

株式会社 コネクトホールディングス
<http://www.connect-hd.co.jp/>

目次

- 第3期(2013年8月期) 第1四半期業績概要
- 当社グループの現況と目標
- 会社の強みと今後の取り組み

第3期(2013年8月期) 第1四半期 業績概要

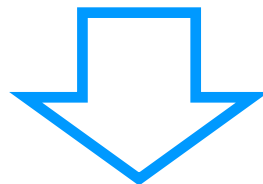
第3期(2013年8月期)第1四半期 業績のポイント

営業利益、経常利益、四半期純利益の黒字化達成

累積損失 $\Delta 77$ 億円 $\Rightarrow$ $\Delta 4$ 億円と大幅な減少

有利子負債 3.5億円 $\Rightarrow$ 1.8億円と大幅な減少

純資産 122百万円 $\Rightarrow$ 267百万円と倍増



自己資本比率17.1% $\Rightarrow$ 43.7%と大幅に改善

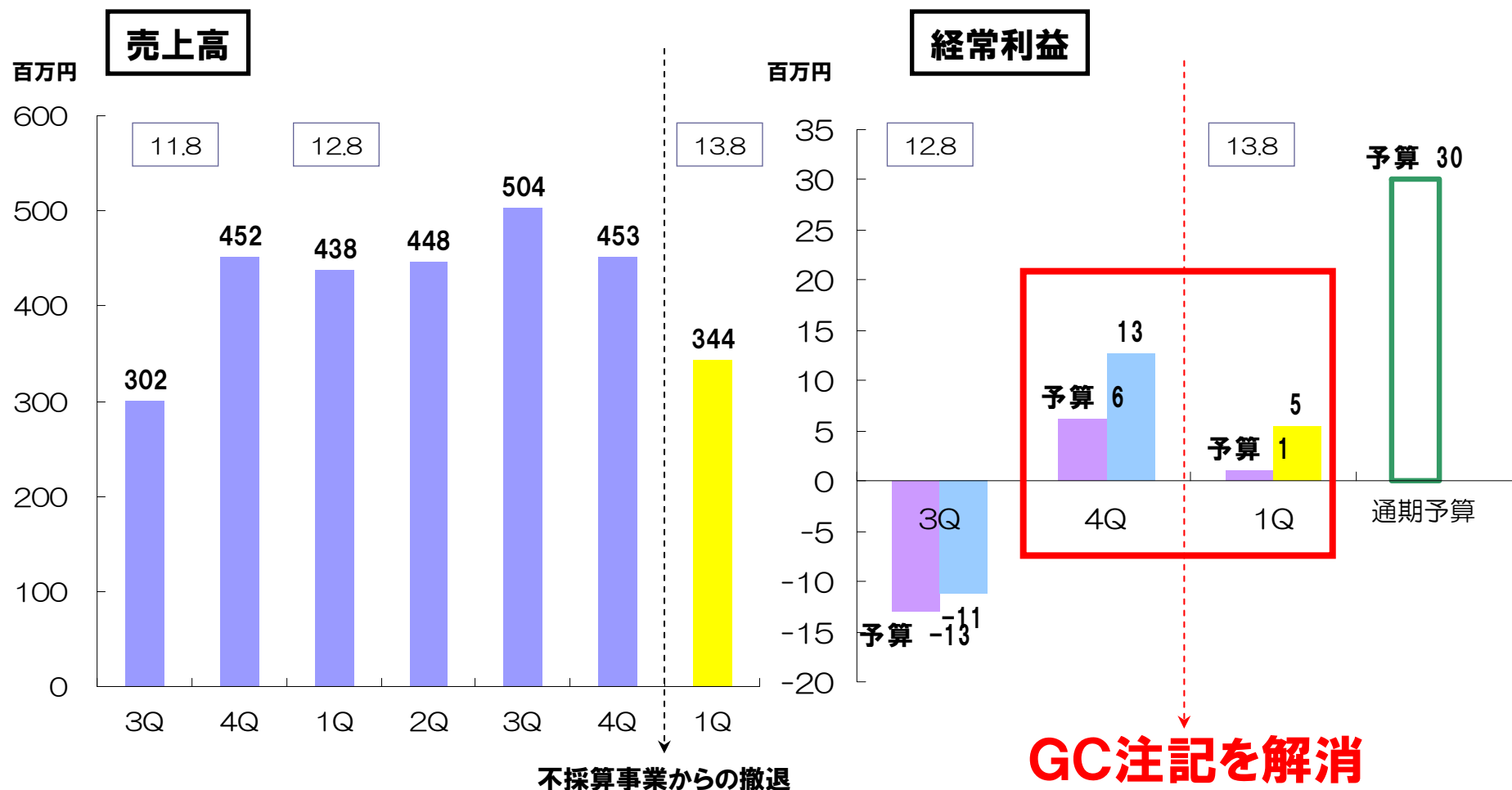
[連結]第3期(2013年8月期) 第1四半期 損益計算書

◆ 前年同期と比較し、大幅な増益を達成

単位:千円	2012/8期 第1四半期	2013/8期 第1四半期		概 要
		実績	前年同四半期比	
売上高	438,259	344,109	△ 94,150	前期の不採算事業からの撤退による減収。
売上総利益	252,245	187,043	△ 65,202	減収に伴い売上総利益の減少。
売上高総利益率	57.6%	54.4%	△ 3.2P	
販売管理費	296,548	171,697	△ 124,851	不採算事業からの撤退と徹底したコスト管理の経営改善効果により大幅減
販売管理費	67.7%	49.9%	△ 17.8P	
営業利益	△ 42,302	15,345	+57,647	当社グループの経営資源をサービス事業に集中、収益改善施策の効果と販管費の減少により、営業利益・経常利益ともに前年同期より、大幅な利益向上を達成。 前第4四半期に続き、黒字継続。
営業利益率	△ 9.7%	4.5%	+14.1P	
経常利益	△ 33,315	5,658	+38,973	
経常利益率	△ 7.6%	1.6%	+9.2P	経常利益の改善により、黒字継続。
四半期純利益	△ 40,087	7,731	+47,818	
四半期純利益率	△ 9.1%	2.2%	+11.4P	

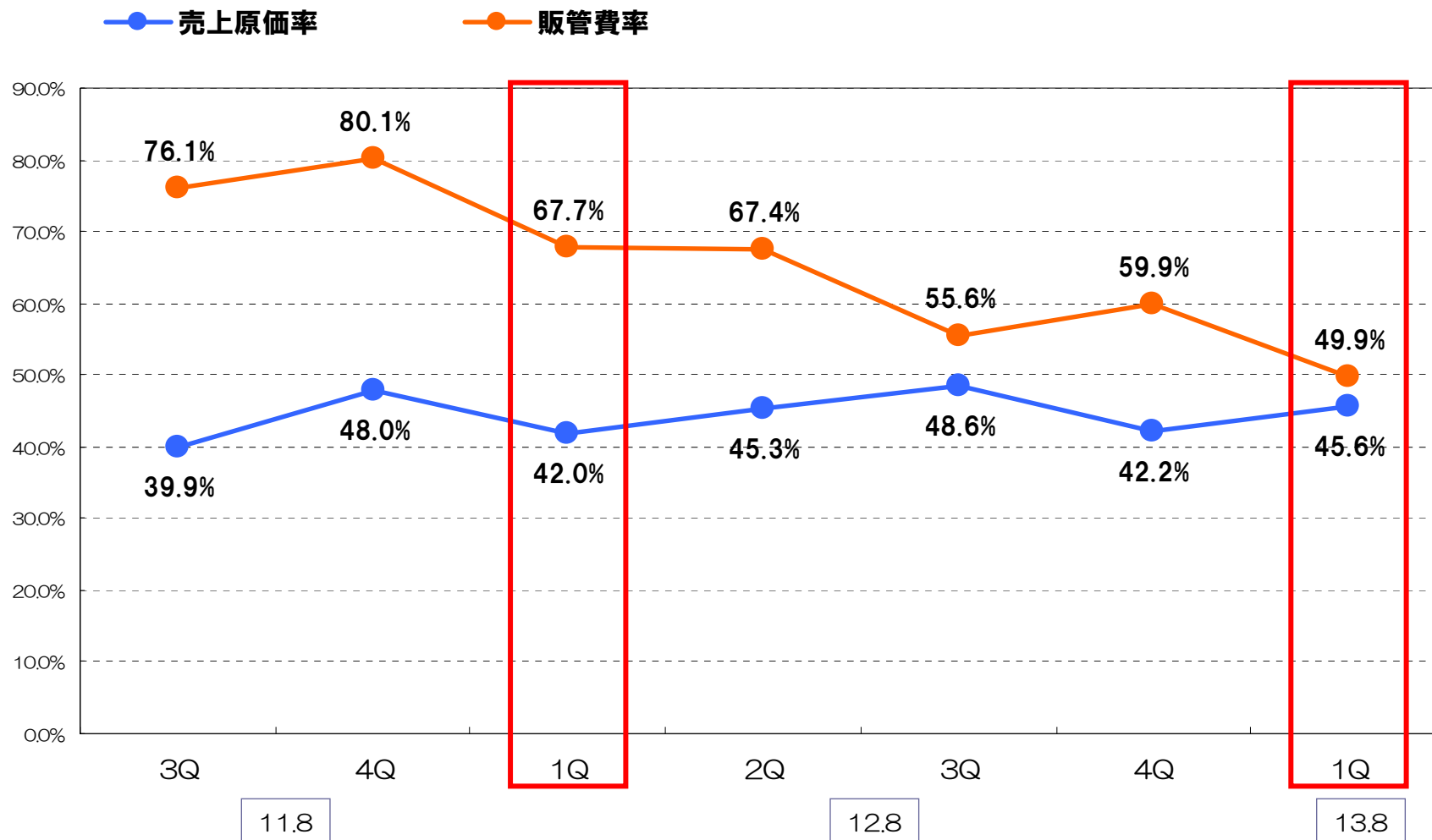
[連結]売上高・利益の推移

◆ 前第4四半期に続き、経常黒字継続と予算を超過する進捗状況



[連結]四半期売上原価率及び販管費率の推移

◆ 不採算事業からの撤退と徹底したコスト管理により販管費減



[連結]貸借対照表

◆ 有利子負債と累積損失の大幅な減少、純資産の倍増

単位：百万円	2012年8月末	2012年11月末		
	金額	金額	構成比	前期末比
流動資産	397	404	66.2%	+ 6
現金及び預金	103	142		+ 40
受取手形及び売掛金	67	67		△ 1
商品及び製品	68	75		+ 7
その他	40	31		△ 10
貸倒引当金	△ 28	△ 12		+ 15
固定資産	306	206	33.8%	△ 100
有形固定資産	59	45	7.4%	△ 14
無形固定資産	113	89	14.6%	△ 25
投資その他の資産合計	133	71	11.8%	△ 61
投資有価証券	72	—		△ 73
長期未収入金	142	15		△ 127
貸倒引当金	△ 172	—		+ 172
資産 合計	703	610	100.0%	△ 93

単位：百万円	2012年8月末	2012年11月末		
	金額	金額	構成比	前期末比
負債合計	581	343	56.1%	△ 238
流動負債	487	264	43.3%	△ 223
買掛金	78	62		△ 16
短期借入金	225	67		△ 159
1年内返済予定の長期借入金	40	39		—
事務所移転費用引当金	—	7		+ 8
その他	21	10		△ 11
固定負債	93	78	12.8%	△ 16
長期借入金	86	76		△ 10
リース債務	5	—		△ 5
純資産	122	267	43.9%	+ 145
株主資本	120	267	43.7%	+ 147
資本金	262	332		+ 70
資本剰余金	7,560	338		△ 7,223
利益剰余金	△ 7,702	△ 403		+ 7,298
新株予約権	2	1	0.2%	△ 1
負債純資産合計	703	610	100.0%	△ 93

当社グループの現況と目標

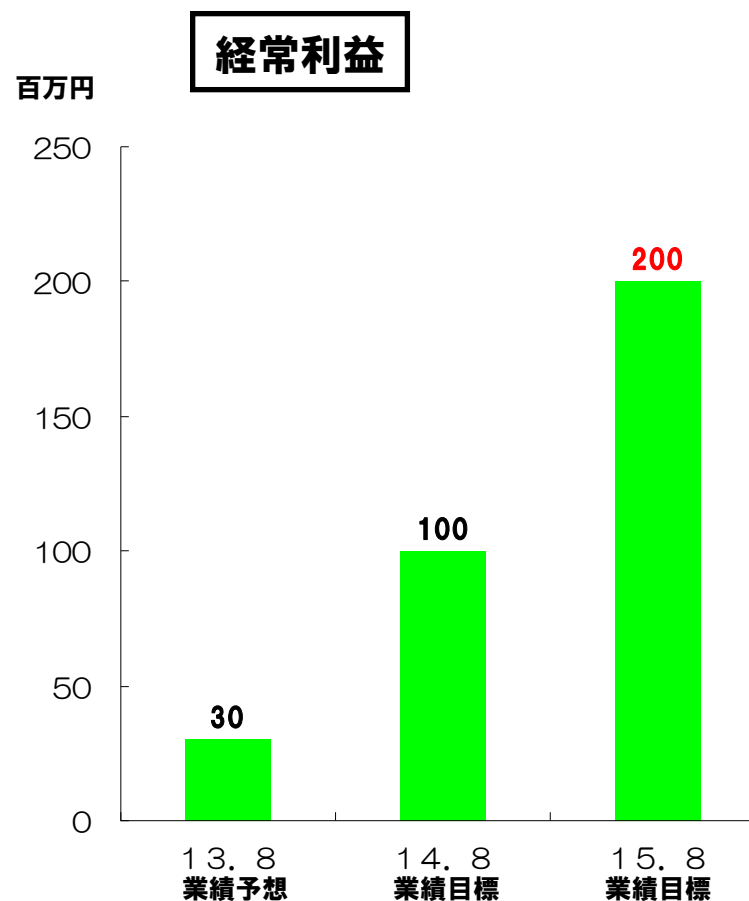
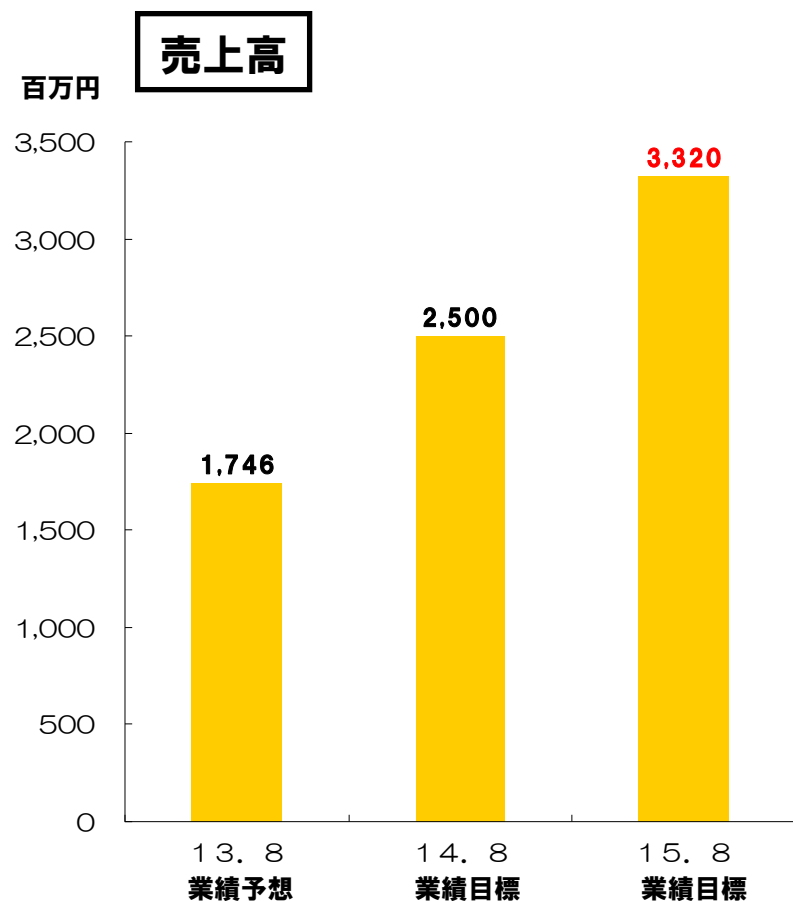
当社グループの現況

◆ 収益力の強化と徹底したコスト削減によるグループ企業の再編を実施



[連結]中期目標

**2015年8月期の当社グループの目標は、
売上高33億円、経常利益2億円**



会社の強みと今後の取り組み

グループ会社の概要



<http://www.connect-hd.co.jp/>

株式会社コネクトホールディングス

本社 東京都港区六本木六丁目1番24号

主な事業目的 純粋持株会社として、グループ各社の経営管理及び経営指導

役員 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) 長倉 統己

取締役 関本敏之 佐藤辰夫(社外取締役)

監査役 大森 勲(社外監査役) 水品 靖芳(社外監査役、税理士)
大松澤 清隆(社外監査役)



<http://www.sby.co.jp/>

<http://shop.sby.co.jp/>

株式会社SBY(100%子会社)

本社 東京都港区六本木六丁目1番24号

主な事業目的 ■コンテンツ・ブランド事業

■ビジネス・アライアンス

■コンセプトマーケティングショップ運営

役員 代表取締役会長 長倉 統己

取締役社長 関本敏之

取締役 清水厚芳 水野明男 矢野浩司 堀口利美
榎園利宏(社外取締役、弁護士)

監査役 石野征人(社外監査役、税理士)

SBYの事業 コンテンツ・ブランド事業

若年層女性向けのコスメ商品や、つけまつげブランドを販売



◆Diamond Beauty (コスメ商品ブランド)

- ・総合コスメブランド
- ・40を超えるアイテムを企画販売
- ・モデルキャスティング、商品開発、流通開拓、
パッケージデザイン、雑誌、テレビのメディア露出を実施



※Diamond Lash(つけまつげ)



※Diamond Puff(パフ)



※Diamond Blush(チーク)



※Diamond Eyelash Fixer(つけまつげのり)



◆Diamond Lash (つけまつげブランド)

- ・No. 1つけまつげブランド
- ・全国6,000店以上のドラッグストア、量販店にて展開中
- ・TV番組への提供(テレビ朝日「お願いランキング」)実施
- ・全国でのTVCMを展開
- ・累計市場販売個数760万個
(2012. 7末現在)



TVCMの制作、放送

タレント、モデルキャスティング、撮影の実施

コンテンツ・ブランド事業 今後の取り組み

新商品の開発とアジア展開を拡大

◆Diamond Beauty (コスメ商品ブランド)



アジア戦略として
2012年4月より
台湾における
商業施設等への卸業から
販売開始



台湾のほぼ全域で
取扱店舗が112店舗を超える

新商品のアイライナー とマスカラを発売

全国の主要ドラッグストア、
バラエティストア、
大型量販店など
全国で発売



アジアにおいてグループ売上
100 億 US ドルを上げている
小売業の「Daily Farm」が
展開しているドラッグストア
「Guardian」を中心に、
25店舗に流通



今後は100店舗へ拡販するべく、
需要の高いアイライナー、マスカラ
など目周りの商品を導入



今後、台湾は元より
アジアの各国のニーズに
応えた商品の
総合プロデュースと
「Diamond Beauty」
ブランドの浸透・流通
を目指します。

SBYの事業 ビジネス・アライアンス

SBYのインフラとプロモーションのノウハウを活かし、他社商品の総合プロデュースを受託



◆Dith (総合バッグブランド)

- ・通販から始まり、現在新宿ALTA店、大阪心斎橋OPA店、京都河原町OPA店、福岡キャナルシティOPA店、那須ガーデンアウトレット店、に出店
- ・期間限定で渋谷109、梅田ESTに出店
- ・モデルキャスティング、商品企画、通販戦略、直営店プロデュース、マーケティングの実施



モデル、タレントキャスティング

店舗写真



◆GROWZE LOS ANGELES (総合アパレルブランド)

- ・20代～30代の女性向けブランド
- ・2012年春にカリフォルニア州ロサンゼルスでの海外1号店をプロデュース
- ・ロサンゼルス店にはミーシャ・バートン他各界著名人が多数来店
- ・2012年秋に阪急うめだ本店の日本初出店をプロデュース



アメリカ、ロサンゼルス



店舗写真

ビジネス・アライアンス 今後の取り組み

新規出店と新たな総合プロデュース業務提携による海外展開で事業拡大

◆Dith (ファッション雑貨ブランド)



■SBYプロデュースのもと、
ロサンゼルスハイブランドセレクトショップでの
取り扱い開始

- Los Angeles 「Madison 3rd Street」
- Beverly Hills 「Beauty Bar」
- Los Angeles 「Foresta boutique」
- Los Angeles 「VIRIGO」



Madison 3rd Street



■人気ファッションビルに続々と新規出店



渋谷109



梅田EST

新ブランドの立ち上げ ◆Secret Venus (美脚専門着圧タイツブランド)



- 通販で1,700枚を1日で完売
- 楽天ランキング1位を獲得
- 全国のドラッグストア500店舗
で販売

◆iDress GIRLSi (iPhone5向けアクセサリブランド)

サンクレスト社と
新たに業務提携
スマートフォン市場は
年々拡大



■サンクレスト社が支社を構える
米カリフォルニアを拠点に全米展開



■SBYが雑貨・コスメティクスで
培ったアジア圏への流通を活用、
台湾・シンガポール・香港等の
アジア諸国に向けて海外展開



iPhoneカバーなどを発売

スマートフォン市場での
トップブランドを目指します。

SBYの事業 コンセプトマーケティングショップ運営

流行最先端都市「渋谷」=SBY(SHIBUYA)をブランドネームとし、単なる店舗販売事業ではなく、最先端の情報が揃う店舗型の情報発信スペースとして、直営店3店舗・FC2店舗を運営

渋谷

SHIBUYA109

- ・SBY
フラッグシップSHOP
- ・年間レジ通過人数
1位を獲得
- ・月間集客人数、
約2～4万人



原宿

SBY
HAPPY ROOM
原宿店

- ・13才～23才の
若年層女性が
ターゲットの
コンセプトショップ



阿倍野

SHIBUYA109
ABENO

- ・SBY関西エリア
フラッグシップSHOP
- ・年間レジ通過人数
1位を獲得



天神(FC)

SBY
Premium Shop
TENJIN

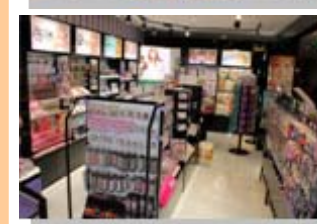
- ・九州エリア
フラッグシップSHOP
- ・SBY初のFC店



町田(FC)

SBY
Sweet Room

- ・SBY2店舗目のFC店



コンセプトマーケティングショップの強み

コンセプトマーケティングショップ「SBY」はターゲット層をTeen～F1層に明確化した店舗作りと品揃えに加え、様々な企業様が活用できるプロモーションスペース、イベントスペースを併設



- コスメティックコーナー
- ・ターゲット: 17～28才女性
- ・モデルプロデュース商品多数
- ・企業様の先行商品、販売実施
- ・限定商品多数取り扱い
- ・最新・流行のビューティーのHOW TOが分かる



- ファッションエリア
- ・商品展開数、3,000種類以上
- ・ファッション雑貨から、携帯アクセサリ、ウィッグまで販売
- ・日常必需品販売
(レギンス、ストッキング、靴下等のレッグウェア)



- フードコート
- ・スイーツメニュー100種類以上販売
- ・タピオカ販売数、月10,000杯以上、
累計30万杯以上



- SBYプロデュースのコスメショップ『WoMANiA(ウーマニア)』
- ・ターゲット: ティーン～主婦層までの女性
- ・海外コスメ、モデルプロデュース商品多数
- ・カラーコンタクト、つけまつげ、を始め、豊富な品揃え
- ・WoMANiA専任のスタッフ常駐で専門的なメイクアドバイス



メディア掲載実績

TV露出実績



TX「ワールドビジネスサテライト」
2008/9/23放送
「SBYの集客力の秘密」



NTV「ズームインSUPER」
2010/5/31放送
「海外アーティストKESHA、SBYに来店」



TBS「リンカーン」
2011/10/11放送
「SBYで売れているつけまつ毛は？」



フジテレビ「めざましテレビ」
2012/9/25放送
「イマドキ」流行アイテム紹介

新聞露出実績



2008年3月4日(火) 産経新聞
「オトク感で集客するSBY」



2012年8月24日(水) 日経MJ
「渋谷109復活挑む」

雑誌露出実績



日経TRENDY 2009年12月号
「女子高生最新流行情報」



POPTeen 2008年6月号
「SBYのメイクルーム公開！」

掲載情報について

本資料に記載されている今期の事業内容に関する記述、将来の数値、各種グラフなどは、当社における将来の見通しを示すものです。当該資料の作成にあたっては、当社が入手した情報に基づく予測および判断を基礎としております。

したがって、これらの実現については、当社が継続して事業を展開する上で不可避の潜在的リスクである、経済状況、新サービスの成否、他社との競争状況などの不確実性が含まれていることをご留意ください。